



主催：日本建築学会 環境工学委員会 建築設備運営委員会

後援（予定）：空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、電気設備学会、日本設備設計事務所協会、建築設備総合協会、  
建築設備コミッション協会、日本冷凍空調学会、照明学会、日本建設業連合会、日本空調衛生工事業協会

日時：2014年10月15日(水) 10:00～17:20

会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

建築環境・設備分野で目指す高性能建築は、「超省エネルギービル」や「環境共生建築」と呼ばれていた時代から、現在の「環境建築」へと変わり、その目指す内容も少しずつ広がっていった。個々の建築のための省エネルギーのほかに、化石エネルギー資源の保存、地球環境や生態系との調和、さらに人の生理・心理に配慮し活力・能力を引き出す環境も追求されるようになった。東日本大震災を経験して、災害に対する強さも重要な目標として加わった。このような背景のもと、第10回の節目を迎える建築設備シンポジウムでは、日本をリードする設計者、研究者をお招きし、広く多様な視点から環境建築と環境建築を支える技術について考えたい。第1部では、設計者から環境建築の創造についてご講演頂き、第2部では研究者から環境建築のための技術の進展や最新研究をご講演頂く。総合討論では設計・研究両方の視点から環境建築の発展の方向を論じる。

## プログラム

10:00～10:10

趣旨説明 郡公子（宇都宮大学）

### (1)第1部 「話題の環境建築に学ぶ」

司会：長井達夫（東京理科大学）

特別講演 環境建築の「これまで」と「これから」 佐藤正章（鹿島建設）

10:10～10:40

1-1 東京ガス平沼ビル 塩出和人（松田平田設計）

10:40～11:00

1-2 東工大附属図書館 安田幸一（東京工業大学）

11:00～11:20

1-3 ヒューリック本社ビル 長谷川巖（日建設計）

11:20～11:40

1-4 東部地域振興ふれあい拠点施設 松村佳明（山下設計）

11:40～12:00

1-5 さくらインターネット石狩データセンター 豊原範之（大成建設）

12:00～12:20

質疑

12:20～12:35

### (2)第2部 「環境建築研究の進展」

司会：長谷川巖（日建設計）

特別講演 太陽エネルギー利用と環境建築 宇田川光弘（工学院大学）

13:35～14:05

2-1 空気環境・換気の視点から 山中俊夫（大阪大学）

14:05～14:25

2-2 温熱環境・プロダクティビティの視点から 田辺新一（早稲田大学）

14:25～14:45

2-3 給排水システムの視点から 村川三郎（広島大学）

14:45～15:05

2-4 空調システムの設計法の視点から 猪岡達夫（中部大学）

15:05～15:25

2-5 業務用建物におけるエネルギー評価・制御のための熱特性把握 長井達夫（東京理科大）

15:25～15:45

質疑

15:45～16:00

### (3)総合討論 「設計と研究の視点から見る環境建築の発展」

16:10～17:10

コーディネータ：石野久彌（首都大学東京）

パネリスト：佐藤正章、塩出和人、松村佳明、豊原範之

宇田川光弘、山中俊夫、田辺新一、村川三郎、猪岡達夫

まとめ 郡公子（前掲）

17:10～17:20

参加費（資料代含む。当日会場でお支払い下さい）：会員：2,000円 会員外／後援団体：3,000円 学生1,500円

定員：300名（申し込み先着順）

申し込み方法：Webよりお申し込み下さい <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=847>

問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 中村 mail: nakamura@aij.or.jp tel: 03-3456-2051